

骨損傷治療実習1

科目ナンバー 7C401
専門分野 必修 2単位

大塚 博史

1. 授業の概要(ねらい)

肩甲骨から手指の骨損傷について、各部の外傷性骨折損傷について実技を行います。
鑑別診断法、整復法、固定法、後療法について実技をします。
実技実習の中では、チーム医療を心がけ、他者との連携、意志の疎通を訓練し、実際の一連の骨折処置を学びます。
その際、患者への接し方、誘導、扱い方について医療人的対応を同時に習得します。
この授業でDP2および3に関する知識、技法を修得します。

2. 授業の到達目標

上肢骨折各論の鑑別診断法、整復法、固定法、後療法について実技実習します。
班ごとにシミュレーションしながら技法を習熟し、ギブス、クラーメル固定の実際を体験し、その中でチームワークと患者への対応、医療コミュニケーションをとれるようになることを到達目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

中間実技試験10%、期末実技試験90%で評価を行います。
最後の授業で全体に対するフィードバックを行い、テストの解説を行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

『柔道整復学・理論編 改訂第5版』南江堂
『柔道整復学・実技編 改訂第2版』南江堂

5. 準備学修の内容

1. 座席は担当教員が指定します。履修届けが終了次第しますので、それまでは自由に着席して頂いて結構です。
2. 実技試験は授業期間中に行います。
4. 計画に沿って授業を行いますが、状況により調整しながら進めます。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーションを行った後、基本包帯を行います。
- 【第2回】 肩甲骨の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- 【第3回】 肩甲骨の骨折(整復、固定)について学びます。
- 【第4回】 上腕部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- 【第5回】 上腕部の骨折(整復、固定)について学びます。
- 【第6回】 肘部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- 【第7回】 肘部の骨折(整復、固定)について学びます。
- 【第8回】 中間実技試験を行った後、試験の解説を行います。
- 【第9回】 前腕部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- 【第10回】 前腕部の骨折(整復、固定)
- 【第11回】 手根部の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- 【第12回】 手根部の骨折(整復、固定)について学びます。
- 【第13回】 手指の骨折(評価、グループワーク)について学びます。
- 【第14回】 手指の骨折(整復、固定)について学びます。
- 【第15回】 期末実技試験を行った後、試験の解説を行います。